

新規参加施設のシステム構築を実施しました

MMWIN へ新たに参加する施設様において、システムの構築作業を実施しました。

参加施設様に、今期の事業を落札した会社の担当者と伺い、光回線の状況や参照端末の設置場所などを確認いたしました。4月から運用を開始する参加施設一覧は1ページ目をご参照ください。



撮影協力：名取市 岡部医院様

患者さんの加入申込書が新しくなりました

患者さんの加入申込書が新しくなりました。記入欄を大きく取り、記入漏れなどを防ぎ、より書きやすくするために改正致しました。

今回の MMWIN 通信に同封させて頂いたものが新しい加入申込書になります。是非、ご活用頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。



現地調査の様子

訪問記録

ユーザーズミーティングや施設訪問の記録です。
※全ての施設ではなく、抜粋して掲載しています。

Updated News

現在、入会案内や、新規参加希望施設様への訪問を強化しております。

また、今年度のシステム構築開始に伴い、参加が決まっている施設様への現地調査や、4月からデータアップロードが開始される14病院での運用説明なども順次実施しております。運用にあたってのお打ち合わせ等も随時行っておりますので、訪問を希望する施設様がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。

2/10 「第14回スマイルネットユーザーズミーティング」兼「第18回宮城県脳卒中地域連携パス研究会」

14病院・32名の皆様にご参加頂き、スマイルネットや脳卒中地域連携パス、及びMMWINの現状報告、最近のトピックスを含めた情報交換をさせて頂きました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。



発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

〒980-8633 仙台市青葉区大手町1-5 宮城県医師会館6階 URL: http://mmwin.or.jp
サポートセンター TEL: 022-399-6880 サポートセンター E-mail: support@mmwin.or.jp
事務局 TEL: 022-395-6312 FAX: 022-395-6313 E-mail: office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



参加施設が増えました!!

システム構築が完了し、4月から運用開始の施設(34施設)と、4月以降にシステム構築する施設(72施設)を一挙にご紹介いたします。新たな参加施設が加わることで、データの保護と情報連携が更に進みます。是非、今後もMMWINのシステムを利用して、情報連携をご利用頂ければと思います。



4月から運用開始の施設一覧(34施設)

- 泉整形外科病院
- 森田医院
- 岡部医院
- 仙台画像検診クリニック
- 一番町きじまクリニック
- 榴岡わたなべクリニック
- ウジエ調剤薬局矢本店
- 古川東町調剤薬局
- 城南薬局
- やまもと調剤薬局
- つくし薬局名取増田店
- ゆうやけ調剤薬局
- 多賀城調剤薬局
- アクア調剤薬局
- ひばり調剤薬局
- つくし薬局 北仙台店
- つくし薬局 福室店
- 調剤薬局とみざわてん
- ひかり薬局富沢南
- サクラ薬局
- トミザワ薬局アエル店
- トミザワ薬局泉店
- トミザワ薬局蒲生店
- トミザワ薬局栗生店
- トミザワ薬局郡山店
- トミザワ薬局小鶴新田店
- トミザワ薬局新田東店
- トミザワ薬局中田店
- トミザワ薬局人來田店
- トミザワ薬局松森店
- トミザワ薬局水の森店
- トミザワ薬局茂庭店
- トミザワ薬局美田園店
- トミザワ薬局利府店

4月以降構築施設(72施設)

- 宮城利府掖済会病院
- 内科佐藤病院
- 泌尿器科泉中央病院
- 仙台西多賀病院
- イムス明理会仙台総合病院
- 平成眼科病院
- 八木小児科医院
- 大坂医院
- サンクリニック
- つのだ眼科
- 三浦クリニック
- やすい眼科
- ゆうファミリークリニック
- あかいし台眼科
- 山田憲一内科医院
- 板橋眼科医院
- 小田眼科医院
- 今井眼科医院
- 千田眼科
- 佐々木整形外科
麻酔科クリニック
- ひがしかつやまクリニック
- 松尾けんこうクリニック
- 江川クリニック
- 長池産婦人科
- あやし眼科クリニック
- 木村眼科医院
- 上杉・五十嵐
産婦人科医院
- 岡部医院仙台
- タカジン眼科
- 星内科小児科医院
- あいざわクリニック
- 伊東クリニック
- 清水内科外科医院
- 愛宕橋にしざわ
脳神経外科クリニック
- やまとまち
レディースクリニック
- 佐々木悦子
産科婦人科クリニック
- 宮田医院
- とみざわみなみ
眼科クリニック
- 岡村婦人科クリニック
- 泉レディースクリニック
- 千田医院
- 八乙女
レディースクリニック
- あおば通り
かずみクリニック
- 村口きよ女性クリニック
- ミドリ調剤薬局
- ヤマザワ調剤薬局
宮城野原店
- アイランド薬局
- カサブランカ薬局
- うさぎ薬局
- おおあみ薬局
- 松山中央調剤薬局
- リフレ薬局上桜木店
- ウイズ薬局
- リフレ薬局塩釜店
- リフレ薬局多賀城店
- 株式会社桜井薬局
- 中江グリーン調剤薬局
- 上杉薬局
- 三井薬局
- トレフル薬局
- リフレ薬局中倉店
- ヘルスマート
フタミ薬局
- ハーベスト薬局
- ウエスト調剤薬局
- リフレ薬局四郎丸店
- ストロベリー薬局
- コアラ調剤薬局
- 寺岡調剤薬局
- 株式会社 寺岡調剤薬局
泉中央店
- 泉パークタウン調剤薬局
- 特別養護老人ホーム
りんどう苑
- 宮城県看護協会
柴田・角田地域
訪問看護ステーション

事業紹介

改めてMMWINの事業内容を紹介します。
是非ご参考になさってください。

MMWIN事業の二本柱

●診療情報バックアップ ●参照・情報共有

MMWIN事業の二本の柱は、①診療情報のバックアップと②その参照・情報共有です。いずれも2016年3月末には充実した体制となる予定です。利活用促進や新規参加の参考になればと思いますので、概要をご説明いたします。

①診療情報のバックアップ体制

2016年3月末における診療情報バックアップ病院は、下の表と地図の通りです。病床数にして、県内病床の60%に相当する病院からのデータが、SS-MIX2という国が推進する標準ストレージシステムにバックアップされます。電子カルテのバックアップは、その施設のソフトが復旧に必要ですが、SS-MIX2はMMWINの汎用システムで参照でき、災害に強い形です。



【診療情報バックアップシステム構築病院】

石巻赤十字病院/気仙沼市立病院/気仙沼市立本吉病院/南三陸病院/東北大学病院/仙台医療センター/仙台厚生病院/仙台赤十字病院/坂総合病院/NTT東北病院/東北労災病院/東北薬科大学病院/JCHO仙台病院/宮城県立がんセンター/仙台オープン病院/東北公済病院/総合南東北病院/公立黒川病院/宮城県立こども病院/中嶋病院/仙塩総合病院/仙塩利府病院/赤石病院/みやぎ県南中核病院/公立刈田総合病院/国民健康保険川崎病院/金上病院/栗原市立栗原中央病院/大崎市民病院/同鳴子温泉分院/同鹿島台分院/同岩出山分院/登米市立登米市民病院 (33病院)
他に、35診療所、173保険薬局、37介護施設、合計278施設でバックアップを実施しています。

②バックアップされた診療情報の参照体制

データ元の病院が許可する項目のデータがバックアップされた診療情報は、患者さんの同意を得て、参加病院間で参照・共有することができます。同意患者数は、すでに1万人を大きく超え、毎週300名近い新規加入があります。

患者さんからは「診療情報を共有してもらえると、苦手な病状説明が減って本当に助かるし、連携していただくと安心感がある」と大きな期待が寄せられています(右ページにて紹介)。

参加施設であれば、患者さんの同意を得て上記の33病院を含む278施設の情報を参照可能です。もし方法などご不明な点があれば、事務局までお気軽にお問い合わせください。

■MMWINの現状

昨年末、MMWINの事業は宮城県の医療福祉にとって欠かせないという共通認識のもと、宮城県とともにMMWINの中長期計画(H27-31年)を策定しました。その二本の柱は、①参加施設における情報連携の利活用を促進し日常臨床における有用性が実感できるようにする、②新規参加施設を募り、災害に強い情報保護・利活用両面で更なる普及を図る、です。

①については、東北大学病院、仙台医療センターをはじめ各地域の中心の病院にMMWINブースを設置して利活用促進を行っており、順次他の参加病院に広げる計画です。これにより加入し紐付けされた患者数は1万2千人を超え、診療所の患者さんでもMMWINのIDカードを持つ方が少なくありません。ID紐付けすることでこれらの病院の診療情報が参照できますので、是非お試しください。

②については、各地域の中・大規模病院と連携関係にある未参加病院・診療所の先生方に、中・大規模病院の院長先生の参加推奨状をいただいて案内させていただいています。

MMWINには、各地域の中・大規模病院の多くの施設が参加しており、しかも、診療情報のバックアップをしている上記病院の病床数は県内全一般病床数の6割を超えています。すなわち、これらの病院の診療情報は患者さんの同意さえあれば、情報連携可能であることが多くなっています。患者さんからも「病状を説明するのは苦手で大変、是非情報連携してほしい」という声が大変多く聞かれます。おかげさまで、本年に入って新たに100施設超の新規参加をいただきました。4月からの診療報酬改訂でなんらかの電子情報共有に対する点数も設けられるようです。現在、初期構築費用は原則補助されますので、未参加の施設さまで心当たりがありましたら、是非、事務局までご連絡頂ければ幸いです。

患者さんの声

実際に寄せられた
生のお届けします。



(糖尿病外来の患者さんより)

・低血糖で救急搬送されたことがある。そういう時に、これまでかかった複数の医療機関や科の経過を見て対応してもらいたい。こういった取組みを期待していた。
・複数の病院にかかっている場合、情報共有によって検査の回数が減ると助かる。



(患者さんのご家族より)

・親の付き添いで来ているのだが、本人の代わりに他の病院への通院状況を説明する際、詳細までわからないことがあるので、見てもらえると助かる。



(転院された患者さんより)

・東北大学病院外科からMMWIN参加病院外科へ転院したので、加入申し込みしたい。

稼働状況

データで見るMMWINの稼働状況です。

データ推移

3月の2週で、東北大学病院での患者登録数が5,000名を超えました。また、県立がんセンター、総合南東北病院、東北労災病院、仙台オープン病院でのアップローダーの稼働が始まりました。

